

指定管理業務評価結果書

1. 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山圏域雇用労働センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下92-1 名称 津山広域事務組合 代表者 管理者 津山市長 谷口 圭三
(3) 公の施設の所管部署	津山市産業文化部仕事・移住支援室
(4) 指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
(5) 評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

2. 施設の利用状況

(1) 利用者数等	年間利用者数 26,227人 (前年度24,645人)
(2) 事業の内容	雇用労働関係事業の開催及び一般貸館事業

3. 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	11,870千円 (前年度33,843千円)
	利用料金収入	10,075千円
	指定管理料	1,009千円
	その他の収入	786千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	9,376千円 (前年度29,891千円)
	主な支出 人件費	3,930千円
	光熱水費	2,226千円
	消耗品費	103千円
	印刷製本費	57千円
	修繕料	471千円
	委託料	2,345千円
	使用料及び賃借料	244千円

4. 総合評価結果

<p>(1) 指定管理者の自己評価</p>	<p>本施設は、多目的に利用できる大ホールや研修、会議などに利用できる会議室等があり、雇用労働関係団体のほか、民間企業や文化団体など幅広い分野の方々が利用している。</p> <p>令和元年度は、貸館における稼働率が対前年度比約117%となっており、適切な施設管理や利用者対応等によるものと評価できる。</p> <p>引き続き、利用促進のPRとともに、丁寧な利用者対応に心がけ、利用率の向上に努めてまいりたい。</p> <p>一方で、津山圏域雇用労働センターは、開館後すでに36年が経過し、施設・設備・備品の老朽化が進んでいることから、自動ドアやエレベーター等の比較的規模の大きな修繕が発生する状況になっている。</p> <p>利用者の要望や意見を十分に把握したうえで、今後も適切な維持管理に努めると同時に、利用者に喜ばれる施設・設備の充実を図っていく必要がある。</p>
<p>(2) アンケート調査の概要</p>	<p>利用者アンケートを88日間（10月～12月）実施した。</p> <p>利用者の満足度は、73.3%と高く、「不満」と回答した利用者は0%だった。</p> <p>「広くて使いやすい」、「利用料金に比べ、施設や設備のグレードが高い」、「無料駐車場がある」といった意見があった。</p> <p>そのほかには、利用方法に関して、申請手続きの簡素化やインターネット予約の導入を望む意見が寄せられた。</p> <p>これらのアンケート結果を踏まえ、利用者の満足度がさらに向上するよう、事務手続きの簡素化・効率化の推進に向けて、費用対効果を勘案しつつ、調査研究を行ってまいりたい。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により3月の利用者数・利用料が昨年度から半減しているが、利用者数・利用料は昨年度から上昇しており、アンケート結果についても、「満足」「ふつう」との意見が多数を占め、「不満」という声が少ないこと、また備品の更新を行うなど利用者</p>

	<p>対して不便を感じさせない取り組みは評価できる。特に「親切」という意見を複数受けていることは評価が高い。</p> <p>インターネット予約等申込についての不満があることを踏まえ、利用者に対して不便を感じさせないよう工夫し、使いやすい施設となるよう引き続き努めること。</p> <p>今後も中心市街地に位置するという立地条件のメリットを活かし、一層の広報活動により利用促進を図ることを期待する。</p>
--	--